

平成25年3月21日

岩出市教育委員会 様

岩出市教育委員会評価委員会
委員長 藤井 均

平成24年度教育委員会事務事業評価に関する意見書

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第27条の規定により、教育に関し、学識経験を有する者の知見の活用を図るということで、私たち評価委員は教育委員会の委嘱を受け、平成25年2月25日及び3月6日の2回にわたり評価委員会を開催しました。評価対象事業は、第2次岩出市長期総合計画の「活力あふれるまち ふれあいのまち」に位置づけられ、教育委員会が作成した34事業の内容及び評価について事務局へ質疑応答を行い、その結果を踏まえ意見を取りまとめました。

自己評価は、一部を除きほぼ達成しているとされており、総合評価として課題や今後の対応並びに市教育委員会の方向性等が示されています。

学校教育の充実では、「確かな学力の育成のための実践研究事業」の実施により、子どもの意欲や態度に改善の兆しがみられるが、数値的な成果による検証が必要である。今後も更なる指導方法の改善に取り組み、研究指定校だけではなく、自主研究校についても、学力向上に努めてもらいたい。また、「学校給食運営事業」については、円滑な学校給食運営を推進するためよく取り組んでいる。今後も、支払督促による債権差押えや学校との連携を一層強化するとともに、児童手当からの徴収に取り組んでもらいたい。

青少年の健全育成では、学校・警察・各種団体と行政が連携を図り、子どもを守る各種の活動が実施されており、引続き取り組んでいただきたい。

また、生涯学習の推進では、公民館教室や各種講座により子どもから高齢者まで学習できる機会の提供がなされているが、教室や講座の必要性や有効性等を常に検証し、事業を進められることを期待しております。

今後、事務事業の自己点検・自己評価の過程を通して、職員の意識改革や政策形成能力の向上を図るとともに、この評価の結果を、来年度以降の教育行政の一層の充実・推進に反映していただきたく、本意見書を提出します。

なお、個別の事務事業についての主な意見は、以下のとおりです。

教育委員会評価委員会の教育委員会評価に対する主な意見

事業区分		主な意見
学校教育の充実	いわでアスリートクラブ事業	参加者は、着実に陸上の競技力が身につき、成果が上がっているため、大変有意義な取り組みであるが、中学生の参加者が少ないので、小学生のみに改正する方がより成果が上がるのではないかと。今後、指導者の確保に努め、継続して実施してもらいたい。
	適応指導教室事業	入室者が少数であるため、今後は、学校、家庭及びスクールカウンセラーとの連携をさらに強化し、取り組んでももらいたい。
	小・中学校施設改修事業	学童が登下校時事故に巻き込まれる案件が発生しているが、今後危険箇所については、教育委員会、学校、道路管理者及び警察と協議し改善に取り組んでももらいたい。
	ブロック塀等耐震化補助事業	補助申請が1件と少ないことから、補助内容の充実が必要では、また、児童・生徒の安全確保を図るため必要な事業であることから、地域住民への周知徹底が必要である。
	確かな学力育成のための実践研究事業	今後も更なる指導方法の改善に取り組み、研究指定校だけではなく、自主研究校についても、学力向上に努めてもらいたい。
	学校給食運営事業	円滑な学校給食運営を推進するためよく取り組んでいる。今後も、支払督促申立による債権差押や学校との連携を一層強化するとともに、児童手当からの徴収に取り組んでももらいたい。
子育て環境の充実	放課後児童健全育成事業	共働きの保護者からも大変喜ばれており、今後も子どもの居場所づくり事業として、より一層の充実に努めてもらいたい。
国際交流の推進	外国青年招致事業	本事業は、英語教育や国際理解教育の充実に大きな成果を果たすことから、今後も継続実施に努めてもらいたい。

青少年の健全育成	青少年育成市民会議助成事業	岩出市においても少子高齢化が進んでおり、あいさつ運動等の活動を担ってくれる地域ボランティアの確保に努めてもらいたい。
生涯学習の推進	公民館事業	参加者へのアンケートの結果を反映した改善を行うとともに、市民ニーズに対応した教室の開催に取り組んでももらいたい。
	民俗資料館体験学習事業	より多くの小中学生に参加いただくため、学校へのチラシ配布はもとより、幅広く参加を呼びかけてもらいたい。
	スポーツ教室事業	市民の健康維持増進やふれあいに役立っており、今後も多くの方に参加いただけるよう創意工夫してもらいたい。
	大会等派遣事業	紀の国わかやま国体の開催も控えており、選手の競技力の向上を図るためにも、より制度を活用してもらいたい。
文化と芸術の振興	文化祭事業	出品数を増やす為、作品募集の広報について考え、できるだけ多くの方に出品いただけるよう工夫してもらいたい。 出品者の高齢化により、作品を会場まで持ってくるのが、難しいとの声があるので、そのような方にも出品できるよう配慮してもらいたい。
	企画展開催事業	より多くの参加をいただくためにも、市民のニーズに対応したテーマの実施や内容の更なる充実を図ってもらいたい。
人権尊重の推進	人権啓発活動地方委託事業	より多くの市民に参加いただくため、講演会開催の広報に努め、関係団体はもとより、幅広く参加を呼びかけてもらいたい。